

2011年3月期決算説明会

株式会社 エヌアイデイ

2011年5月19日

■ はじめに（事業内容）

1. 2011年3月期業績について

2. 2012年3月期通期計画

3. 中期3カ年計画と事業戦略

■ 巻末資料

この資料に掲載しております当社の計画及び予想、戦略などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本経済や情報処理業界の動向、新たなサービスや技術の進展、不確定要素などにより、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことを、あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

会社概要



社 名	株式会社エヌアイデー (英社名 : Nippon Information Development Co.,Ltd)
本店営業所	新宿区西新宿7-6-4 TEL : 03-3365-2621
設 立	1967年(昭和42年) 5月
資 本 金	6億5,335万円(2011年3月末現在)
事 業 内 容	システム開発、情報処理サービス
社 員 数	950名、(NIDグループ : 1,460名) (2011年3月末現在)
発行済株式数	4,369,830株
株 主 数	564名(2011年3月末現在)
	2003年1月 ジャスダック取引所に上場(証券コード2349) 2007年9月 社団法人日本経済団体連合会(経団連)入会 2010年1月 ISO27001認証取得 2010年4月 ジャスダック取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、大阪証券取引所JASDAQ市場に上場

	所在地	資本金	売上高 (2011年3月期)	社員数	事業内容
(株)エヌアイデイ	東京都新宿区	6億53百万円	112億70百万円	950名	システム開発事業 情報処理サービス事業
連結子会社3社					
(株)NID・IS	千葉県船橋市	30百万円	25億86百万円	298名	システム開発事業 情報処理サービス事業
(株)NID東北	仙台市宮城野区	30百万円	10億67百万円	78名	システム開発事業
(株)NID・IE	東京都新宿区	30百万円	14億97百万円	134名	システム開発事業 情報処理サービス事業

(社員数：2011年3月末現在)



NID・IE社



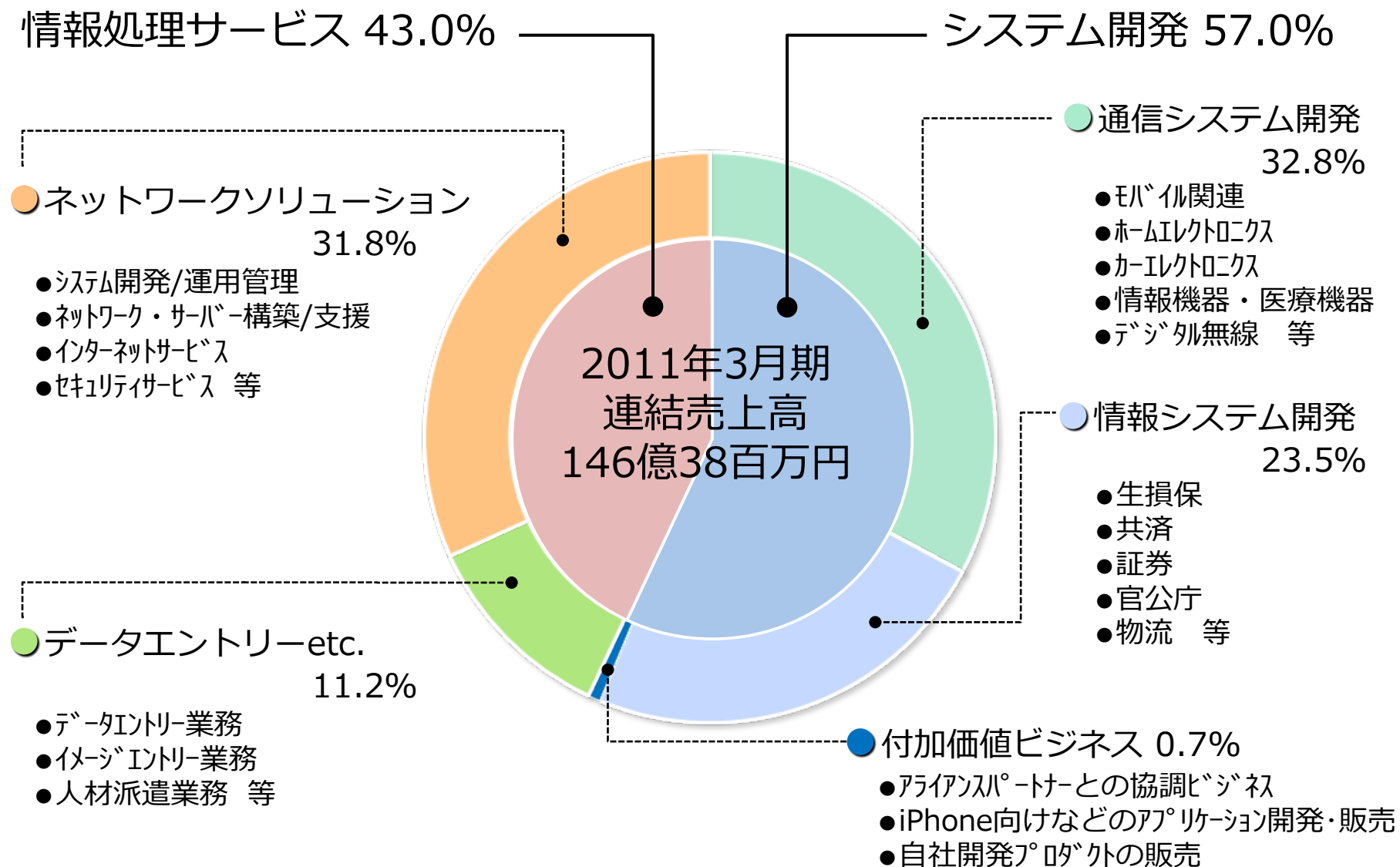
NID本社



NID・IS社



NID東北社





1. 2011年3月期業績について

■ 売上、利益の状況について

- 売上高は前年とほぼ同様、経常利益は前年を上回る。
 - 投資有価証券評価損による特別損失189百万円あり。
 - 当期は東日本大震災による大きな影響はなし。
- (百万円)

科目	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	前年同期比
売上高	14,723	14,638	99.4%
経常利益	921	994	107.8%
当期純利益	538	447	83.1%

■ バランス経営の効果

- 通信システム事業は回復の兆しあり。
- 情報システム事業は好調。
- ネットワークソリューション、N I D東北は堅調。
- N I D・I S、N I D・I Eは苦戦。

2011年3月期決算の概況(連結)



(単位：百万円)

科 目	2010年3月期 (実績)	2011年3月期 (実績)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	14,723	14,638	△85	△0.6%
売上原価	12,076	11,943	△133	△1.1%
売上総利益	2,646	2,695	+48	+1.8%
販売費及び管理費	1,739	1,759	+20	+1.2%
営業利益	907	935	+27	+3.1%
経常利益	921	994	+72	+7.8%
当期純利益	538	447	△90	△16.9%
総資産額	10,272	10,660	+388	+3.8%
自己資本	5,818	6,110	+291	+5.0%
1株当たり当期純利益	142.24円	118.26円	---	---
1株当たり純資産	1,537.10円	1,614.05円	---	---

対前年同期増減の 主な内容

<売上高>

- 情報システム事業
+ 1億8千万円
- ネットワークリレーション事業
+ 1億2千万円
- NID・IS、他
△3億9千万円

<経常利益>

- 通信システム事業
+ 1億6千万円
- NID・IS
△8千万円

<総資産額>

- 現預金 +8億円
- 有価証券 △3億円
(国債満期償還による)

<自己資本>

- 利益剰余金 +2億7千万円

貸借対照表(連結)



(単位：百万円)

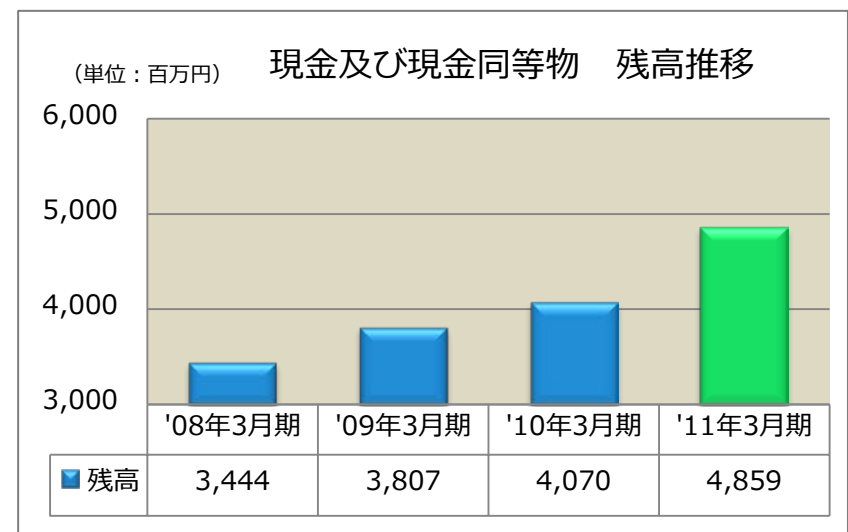
連結貸借対照表	2010年3月期	2011年3月期	前期末比 増減額
流動資産合計	7,601	8,216	+614
固定資産合計	2,670	2,444	△226
資産合計	10,272	10,660	+388
負債合計	4,453	4,550	+96
純資産合計	5,818	6,110	+291
負債純資産合計	10,272	10,660	+388

※ 固定資産の減少は、投資有価証券の時価評価減少（評価損189百万円）によるもの

(単位：百万円)

キャッシュ・フローの状況	2011年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	761
投資活動によるキャッシュ・フロー	204
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175
現金及び現金同等物期末残高	4,859

※ 国債満期償還300百万円による収入あり



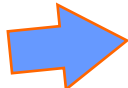
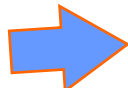
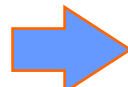
セグメント別売上高・営業利益実績



(単位：百万円)

セグメント名	2010年3月期		2011年3月期		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通信システム事業	3,031	△ 24	2,938	136	△ 93	+ 161
情報システム事業	2,822	328	3,009	307	+ 187	△ 20
ネットワークソリューション事業	4,531	251	4,661	264	+ 129	+ 12
NID・IS	2,374	186	2,172	99	△ 202	△ 86
NID東北	1,074	63	1,042	74	△ 31	+ 11
NID・IE	889	68	815	47	△ 74	△ 21

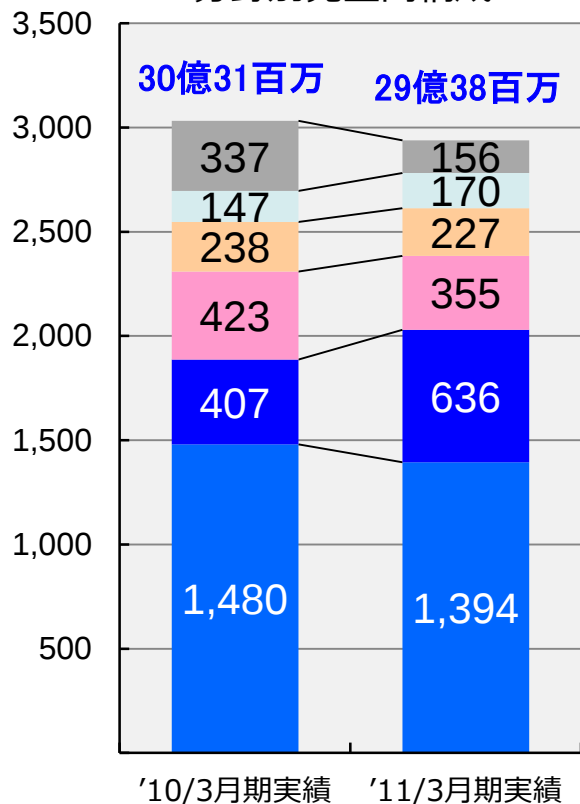
セグメント別の概況

セグメント名	当期の概況	トレンド	主な顧客
通信システム事業	- 自動車関連の受注が増加したが売上は前年とほぼ同様 - 収益面は生産性向上とアンドロイド効果などにより大幅増加		・ソニーグループ ・トヨタグループ ・シャープ ・キヤノン ・NTTグループ
情報システム事業	・生損保/共済、流通/製造等の主要顧客からの受注増加 ・収益は前年とほぼ同様		・日本興亜損保 ・富国生命グループ ・全労済グループ ・森永乳業
ネットワークソリューション事業	・主要顧客からの受注が安定的に推移 ・売上、収益とも前年を上回る		・全日空グループ ・日本興亜損保 ・さいたま市 ・日本出版販売グループ
NID・IS	・データ入力関連事業が受注減少 ・システム開発案件がやや縮小 ・売上、収益とも前年より減少		・キヤノングループ ・シャープグループ ・ちばぎんグループ
NID東北	・電力関係の主要顧客からの安定受注 ・一部不採算プロジェクト発生の影響が残る ・売上は前年と同様、収益は前年を上回る		・東北電力グループ ・キヤノン
NID・IE	・派遣需要の低迷にて受注減少 ・売上、収益とも前年より減少		・富国生命グループ ・全労済グループ

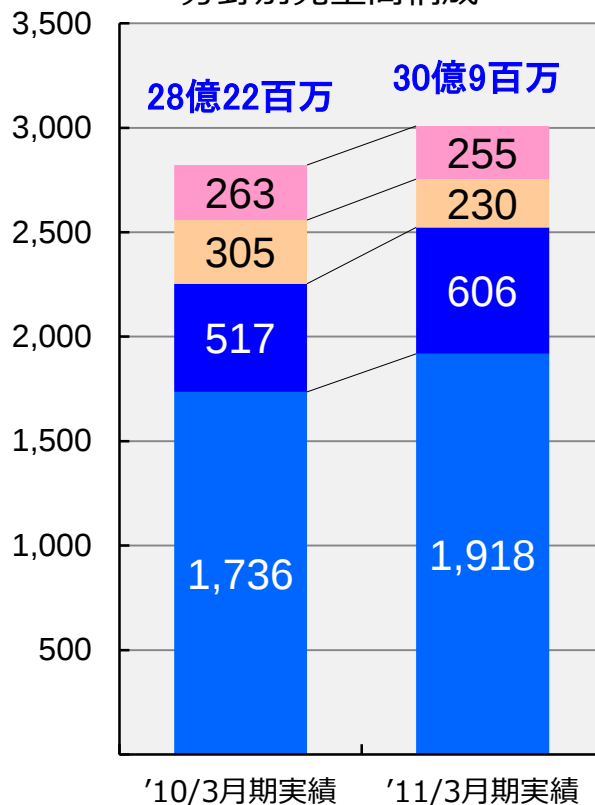
セグメント別分野別及び業種別売上高①



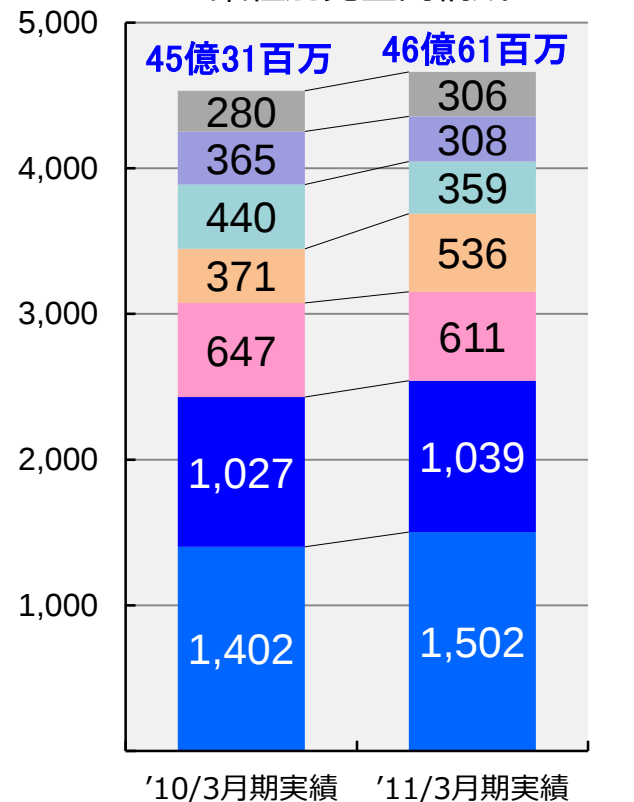
NID通信システム事業
分野別売上高構成



NID情報システム事業
分野別売上高構成



NIDネットワークソリューション
業種別売上高構成



■ デジタル無線
■ 情報家電
■ カーエレクトロニクス
■ その他通信、PDA外販売
■ 情報機器・医療機器
■ モバイル関連

■ 生損保・共済
■ 官公庁
■ 流通・製造
■ その他

■ 運輸業
■ 官公庁・団体
■ 卸売・小売業
■ 金融・保険業
■ 製造業
■ サービス業
■ 情報処理業

カーエレクトロニクスが受注増。デジタル無線で苦戦。（対前年同期比△3.1%減）

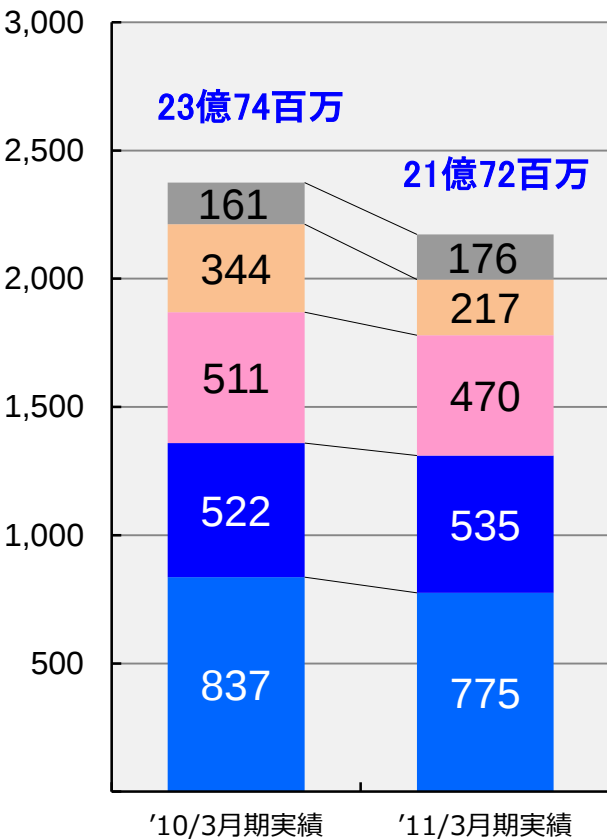
生損保・共済、流通・製造が受注増（対前年同期比+6.6%増）

官公庁・団体、運輸業が受注増（対前年同期比+2.8%増）

セグメント別分野別及び業種別売上高②

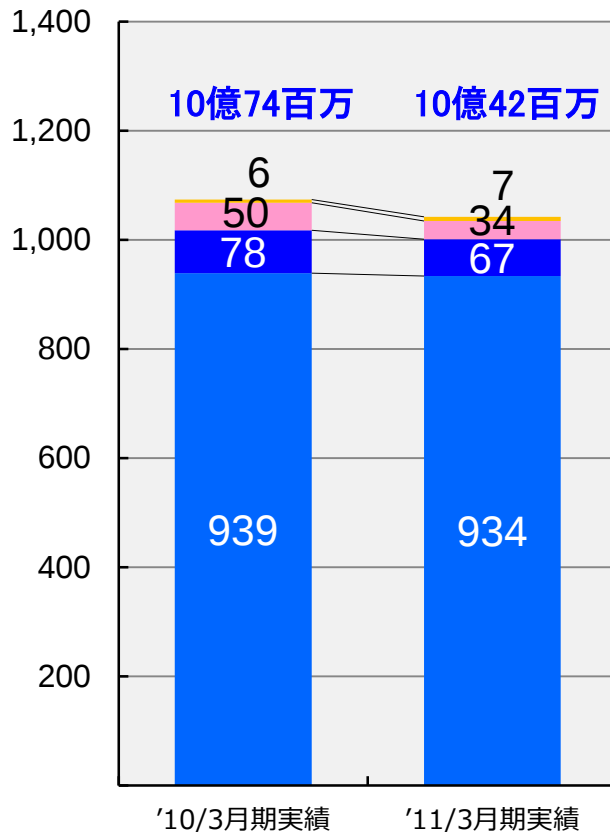


NID・I S
業種別売上高構成



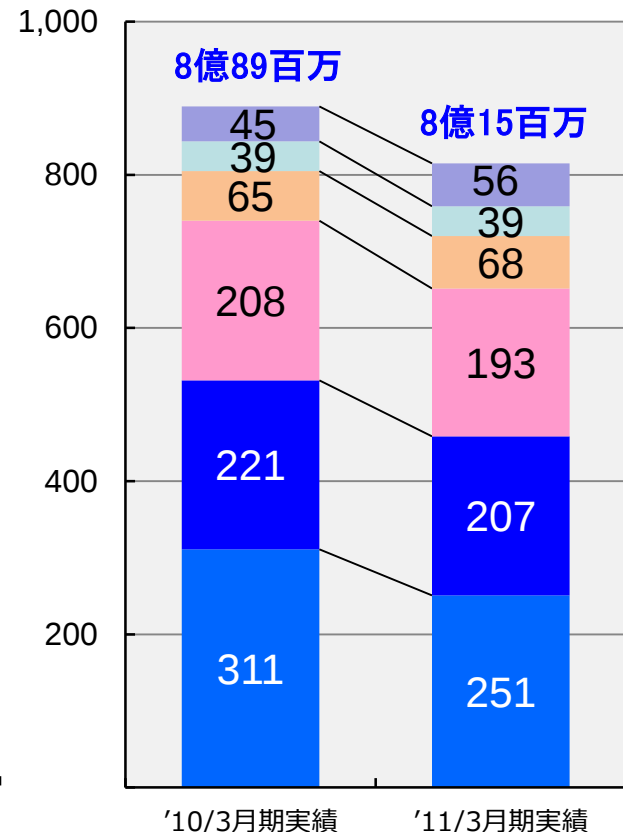
■ 製造業 ■ 官公庁・団体
■ 金融・保険業 ■ 情報処理業

NID東北
業種別売上高構成



■ 電力・ガス業 ■ 製造業
■ 情報処理業 ■ その他

NID・IE
業種別売上高構成



■ 金融・保険業 ■ 官公庁・団体 ■ 情報処理業
■ サービス業 ■ 卸売・小売業 ■ その他

情報処理業、製造業で受注減。その他の業種では前年同様（対前年同期比△8.5%減）

情報処理業で受注減、その他の業種では前年同様（対前年同期比△3.0%減）

金融・保険業、官公庁・団体、情報処理業で受注減（対前年同期比△8.3%減）



2. 2012年3月期通期計画

2012年3月期通期連結業績計画



(単位：百万円)

	2011年3月期 (実績)	売上比	2012年3月期 (計画)	売上比	増減額	前年度比
売上高	14,638	100.0%	14,750	100.0%	111	+0.8%
売上総利益	2,695	18.4%	2,812	19.1%	116	+4.3%
営業利益	935	6.4%	1,010	6.8%	74	+8.0%
経常利益	994	6.8%	1,020	6.9%	25	+2.6%
当期純利益	447	3.1%	600	4.1%	152	+34.0%
1株当り当期純利益	118.26円	---	158.50円	---	---	---

セグメント別売上・営業利益計画(対前年)



(単位：百万円)

セグメント名	2011年3月期 (実績)		2012年3月期 (計画)		前年同期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
NID 通信システム事業	2,938	136	3,200	190	+262	+54
NID 情報システム事業	3,009	307	3,100	310	+91	+3
NID ネットワークソリューション事業	4,661	264	4,700	270	+39	+6
NID・IS	2,172	99	2,300	150	+128	+51
NID東北	1,042	74	650	50	△392	△24
NID・IE	815	47	800	40	△15	△7

■ 受注獲得

- 既存顧客への現場営業を徹底し確実な受注
- ソリューション型の営業へ転換、とる営業から生み出す営業へ
- 成長事業分野へ注力

■ プロダクト関連ビジネスの展開

- 「Nstylist」を中心に新規業務分野へビジネス展開
- iPhone、iPad、Android関連システム開発

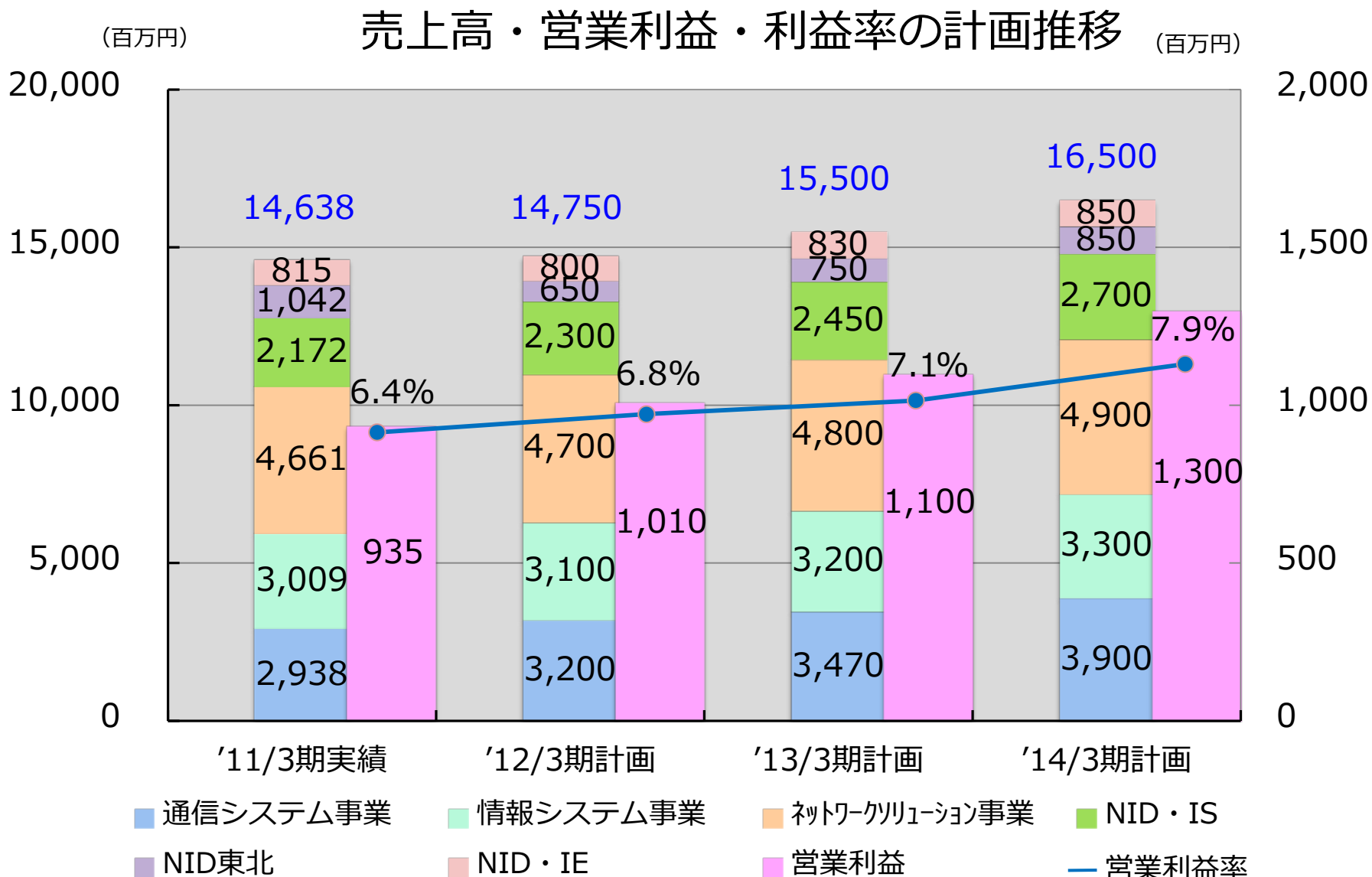
■ 品質管理の徹底

- 技術力と品質、そして人間力で顧客満足度向上

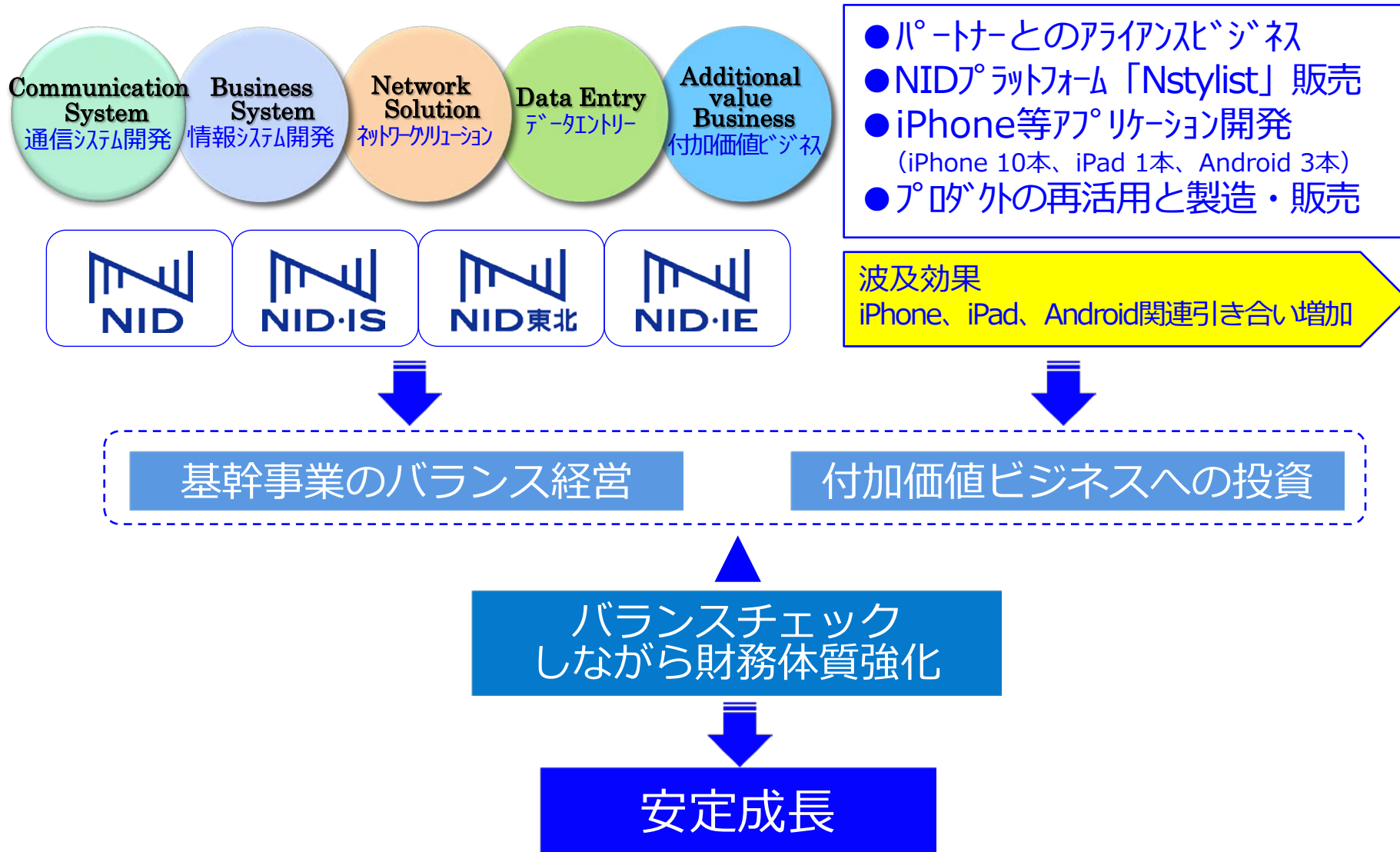


3. 中期3カ年計画と事業戦略

中期3カ年計画＜売上高・営業利益＞



■ バランスとキャッシュフローを重視する経営



■ 事業分野の集約化と複数取引の拡大

■ 主要業種別売上高構成比（2011年3月期実績）

業 種	構成比
保 険（生損保・共済）	24.3%
運 輸（航空）	10.4%
自 治 体	5.5%
モバイル	12.5%
車（ITS）	4.9%
電 力	6.6%

■ 主要顧客別売上高構成比（2011年3月期実績）

主要顧客	構成比		
	システム開発	運用管理	DE
F 生命	59.5%	15.0%	25.5%
N 損保	53.6%	38.8%	7.6%
Z 労済	41.9%	34.5%	23.6%
A 航空	47.0%	52.8%	0.2%
自治体	22.7%	51.8%	25.5%
M 百貨店	40.9%	58.3%	0.8%
N 社（モバイル）	90.9%	9.1%	—

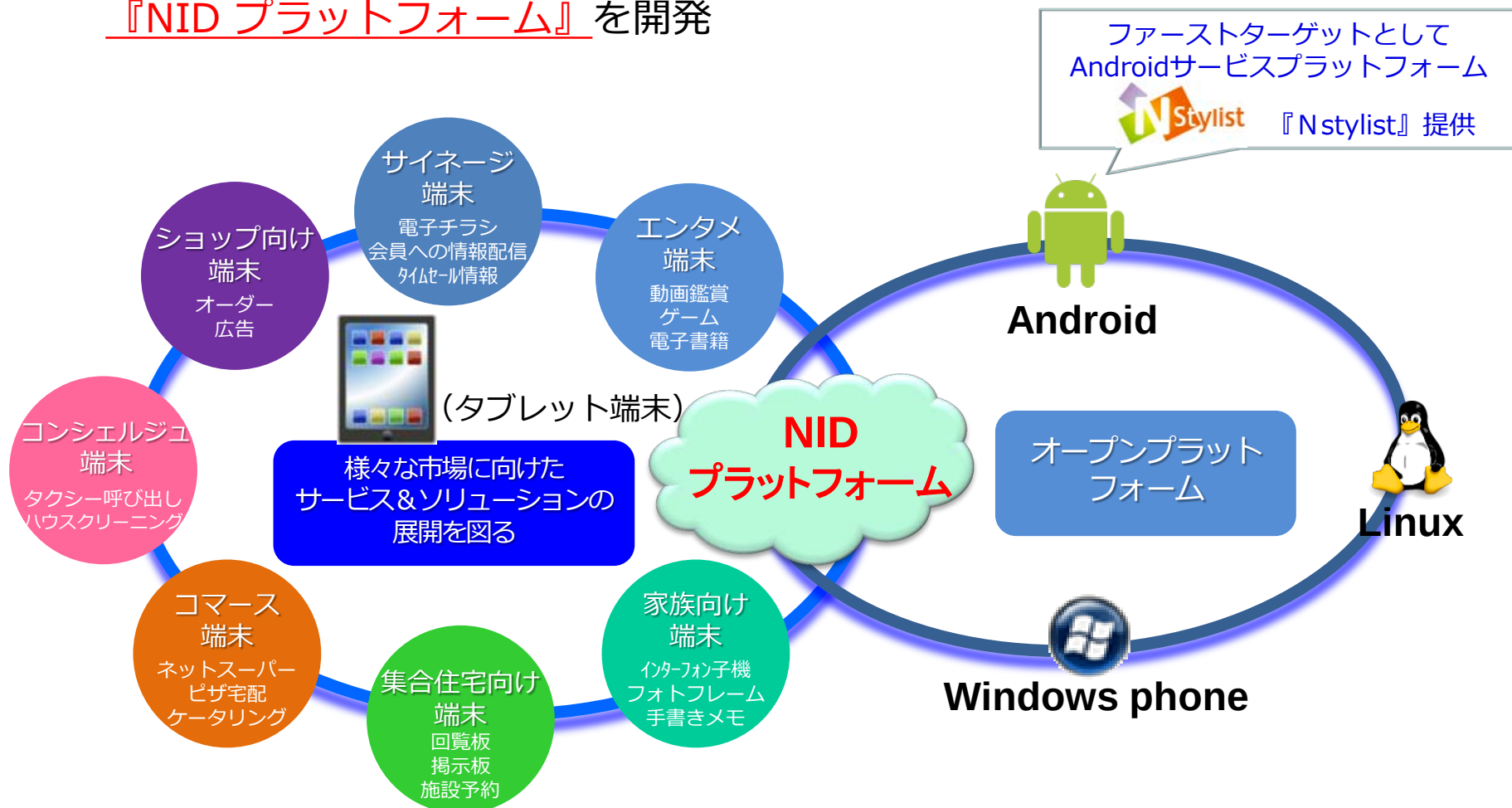
※ 配布資料には、売上高を記載しておりません。

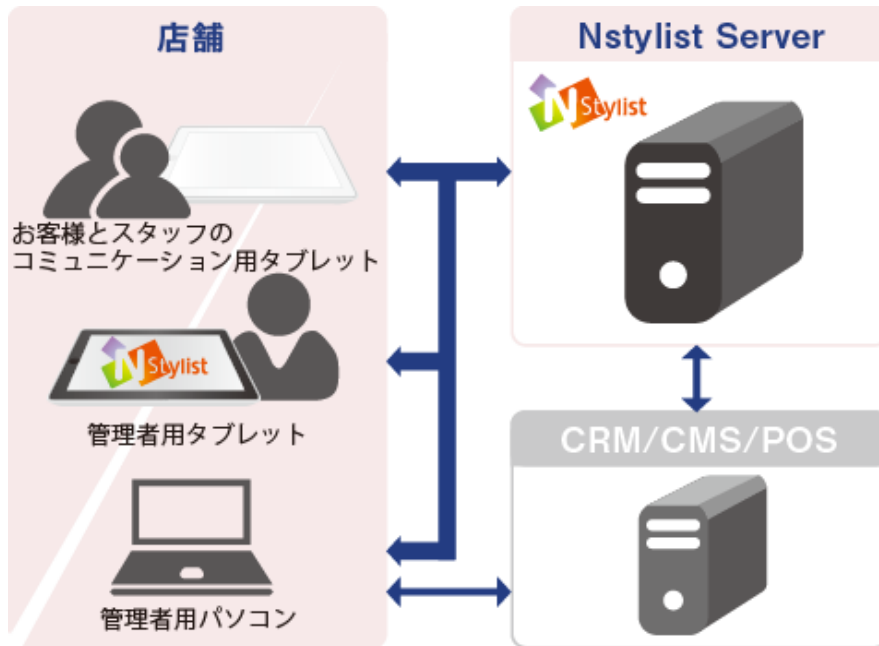
NIDプラットフォーム



- ◆ アンドロイド上で動作するアプリケーションを簡単に作成するためのミドルウェア
- ◆ オープンプラットフォームを利用した様々な情報機器へ搭載出来る、

『NID プラットフォーム』を開発





● 『Nstylist』 の3つの特徴

- あらゆるニーズに対応したアプリケーションをスピーディーに作成可能
- 優れたマーケティングデータを収集・活用できる環境
- 企業のリリースは最小限

● 『Nstylist』 活用ポイント (レストラン、アパレルショップ等の店舗では)

Point1 : スタッフの代わりに接客

Point2 : お客様を楽しませる
仕組みが沢山

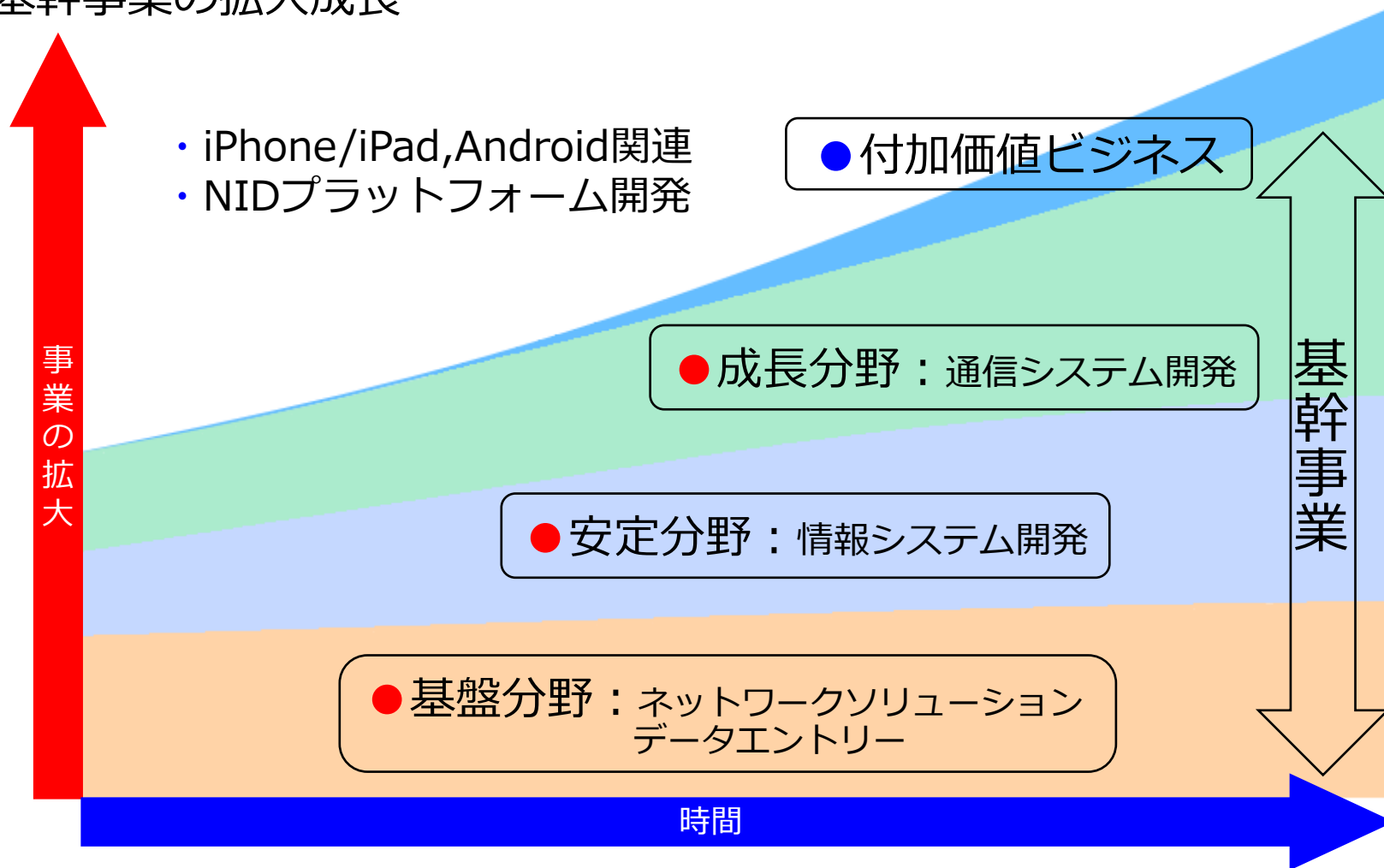
Point3 : 使えば使うほど、各クライアント企業に
最適なツールとして成長

ご利用料金 初期導入費用 ¥0より
月額利用料 ¥500/月額より
システム構成やご利用サービスにより変動いたします

※ 第1回「スマートフォン&モバイルEXPO」へ出展

(5月11日~13日:東京ビッグサイト)

- 付加価値ビジネスの展開
- 基幹事業の拡大成長



得意技へのこだわり

高い専門性を追求する

品質へのこだわり

常に技術に磨きをかける

基本へのこだわり

事業に軌軸をもつ

技術力（企業価値） = 品質（顧客満足度）

専門店経営でユーザー価値を満足させる
ベスト・パートナーに！！



■ 株主還元策

- 配当 各期の業績、将来の事業展開、配当性向等を勘案し、**安定した配当を継続**していきます。

2011年3月期（第44期）配当金予定 **45**円

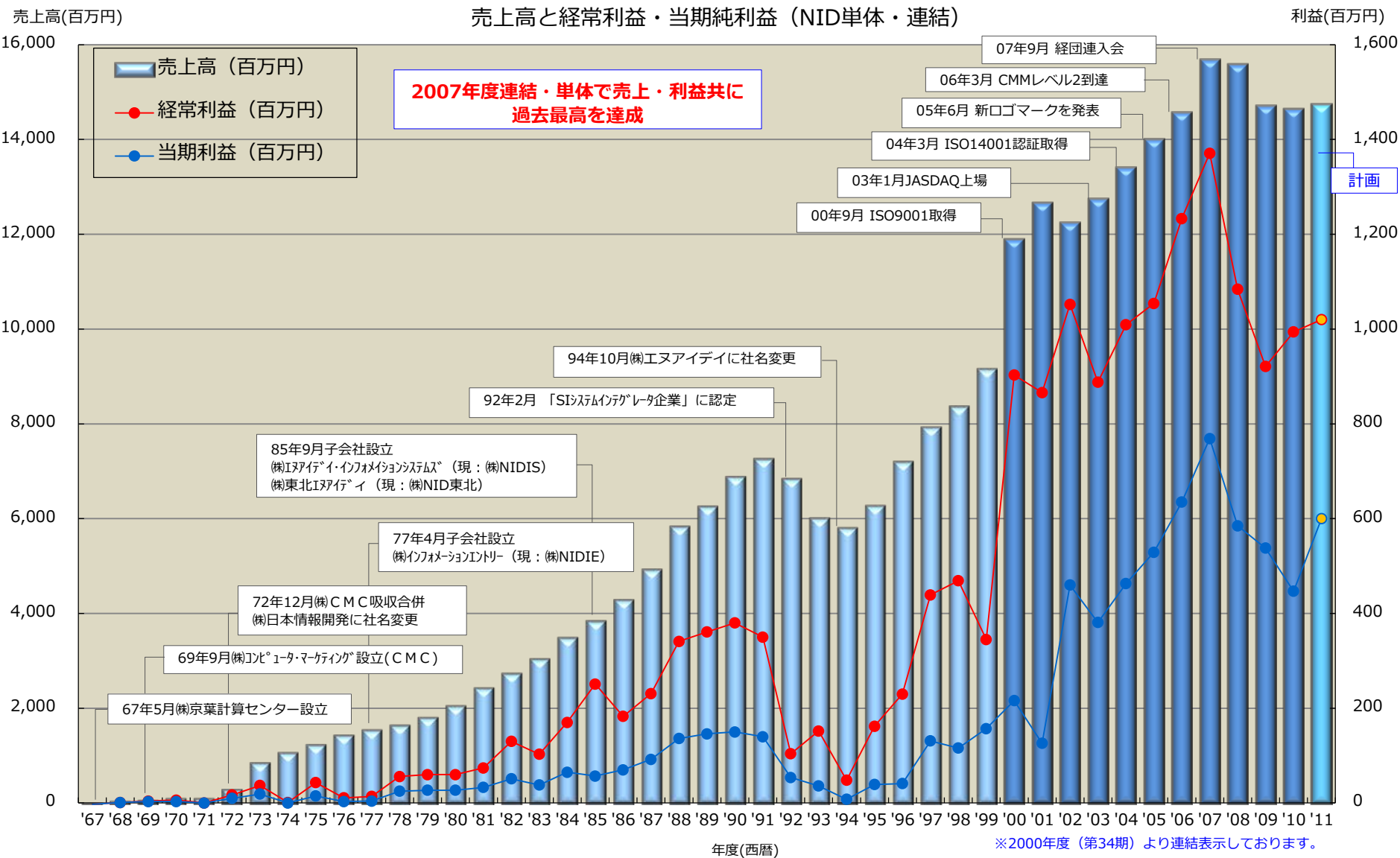
■ 目標とする経営指標

- | | |
|----------------|------------|
| ■ 売上高経常利益率 | 10% |
| ■ 自己資本利益率（ROE） | 15% |



■ 卷末資料

業績推移



参考資料. iPhone向けアプリケーション開発

製品名		5/17時点 累計販売本数	ダウンロード数 国別トップ3		
	GPS-R 07.11.13~	110,921	日本 32,061	アメリカ 13,729	フランス 11,798
	GPS-R Android版 09.04.13~	14,336	※国別情報は取得できません		
	Ki-Ri-e 08.12.20~	603	アメリカ 271	日本 192	イギリス 22
	Ki-Ri-e lite 08.12.20~09.07.01	19,557	アメリカ 8,052	日本 2,638	カナダ 1,191
	Ki-Ri-e Lite for iPad 11.03.03~	1,417	アメリカ 383	中国 262	日本 94
	ToyMode 09.03.29~	3,256	日本 2,957	アメリカ 185	イギリス 18
	ToyMode Android版 10.08.25~	394	※国別情報は取得できません		
	PopApp 10.06.03~	1,372	日本 1051	アメリカ 97	韓国 17
	PopApp Android版 10.09.03~	2,063	※国別情報は取得できません		
	カメレ音 09.04.27~11.01.12	280	日本 240	アメリカ 22	イギリス 4
	Happy Darts 09.09.20~	1,112	日本 879	アメリカ 126	イギリス 19
	Touch'n Sort 09.11.06~	193	日本 140	アメリカ 38	イギリス 4
	ActMem 10.03.05~	259	日本 225	アメリカ 8	香港 2
	ImageFlow 10.12.29~	138	日本 69	アメリカ 27	ドイツ 7

用語

エンベデッド(Embedded)	デジタルＴＶ、DVD(Digital Versatile Disk)、PDP(Plasma Display Panel)などの情報家電から携帯電話、携帯端末(ＰＤＡ：Personal Digital Assistance)、車載システムなどに組み込むソフトウェアの総称です。
ホームエレクトロニクス (情報家電)	情報通信機能を組み込み、高機能化・ネットワーク化した家電製品のこと。デジタルＴＶなどのＡＶ機器や、家庭用ゲーム機などをはじめ、冷蔵庫、電子レンジ、洗濯機といった白物家電も情報家電への進化が期待されています。
ユビキタス(ubiquitous)	ユビキタスの語源はラテン語で、いたるところに存在する(遍在)という意味。インターネットなどの情報ネットワークに、いつでも、どこからでもアクセスできる環境を指し、ユビキタスが普及すると、場所にとらわれない働き方や娯楽が実現出来ようになります。「ユビキタス・ネットワーク社会」のようにも使われることもあります。
WiMAX(ワイマックス、 Worldwide Interoperability for Microwave Access)	2003年1月にIEEE(米国電気電子学会)で承認された、固定無線通信の標準規格。IEEE802.16規格は10～66GHzの周波数帯を使用していたが、802.16 a 規格では2～11GHzを利用するよう改められています。通信速度や最大距離は変わらず、1台のアンテナで半径約50kmをカバーし、最大で70Mbpsの通信が可能です。
LTE(エルティーイー、 Long Term Evolution)	3.9Gと呼ばれる次世代携帯電話の通信規格の1つであり、100Mbpsのデータ伝送が可能な移動通信システム。Super 3 Gとも言われ、3.5Gの先にあるものを言います。
I T S (Intelligent Transport System)	高度道路交通システム。最先端の情報通信技術を利用して、ナビゲーションシステムの高度化、将来の自動運転を目標とした安全運転の支援、有料道路でのノンストップ自動料金支払システム等により交通の安全や効率性の向上を実現します。
携帯電話自動評価システム	評価指示(シナリオ)に従い、携帯電話のボタンを自動的に操作し、その結果データを自動収集、予め用意しておいた期待画像などと比較し、自動的に成否の判定を実現するものです。
RFID(アールエフアイディー、 Radio Frequency Identification Tag)	非接触ICタグ(微小な無線チップ)により人やモノを識別・管理する仕組み。流通業界でバーコードに代わる商品識別・管理技術として研究が進められてきましたが、それに留まらず社会のIT化・自動化を推進する上での基盤技術として注目が高まっています。
ＵＩ(ユーザインタフェース、 User Interface)	コンピュータと人間(ユーザー)との間で情報をやり取りするための方法、操作、表示といった仕組みの総称。コンピュータの使いやすさを決定する大きな要因となります。
ミドルウェア (Middleware)	コンピュータの分野で、コンピュータの基本的な制御を行うオペレーティングシステム(OS)と、各業務処理を行うアプリケーションソフトウェアとの中間に入るソフトウェアのことです。
プラットフォーム (platform)	コンピュータやシステムの基礎部分となるもの。通常、ハードウェアおよび(または)オペレーティングシステム(OS)の種類や環境、設定などを指します。



<http://www.nid.co.jp>